

授業科目 地域リハビリテーション学

【担当教員名】 能村友紀、岩崎テル子、小野敏子	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
 地域リハビリテーションにおける多職種役割と連携の重要性を認識する中で、作業療法士が果たす役割とともに、ケアマネジメントの理念と方法論を理解し、対象者の発症から生活の再構築まで、一貫したリハ・サービスを展開できる力を養う。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1. 地域リハビリテーションの概念・理念、システムの概要を述べるができる。
  2. 地域リハビリテーションに関わる多職種の役割の概要を述べるができる。
  3. 生活障害の捉えかた、生活の構造的側面について述べるができる。
  4. 地域リハビリテーションに関係する法律制度、
  5. ケアマネジメントの視点と、主な対象別の機能の概要を述べるができる。
  6. 社会資源とケアマネジメントにおける位置付けを述べるができる。
  7. 地域における連携とネットワークづくりのあり方について、自分の考えを述べるができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	日本の地域リハビリテーションの変遷（ボランティアから介護保険まで）	1	講義、討論、（岩崎）
2	なぜ地域リハビリテーションかー考え方、障害を負うことの意味、医学の限界、国際動向ー	2,3	講義（岩崎）
3	地域リハビリテーション活動とエビデンスEBM（調査、活動評価、EBMの方法）	1	講義（岩崎）
4	地域リハビリテーションと医療・保健の変化（多職種の連携とその役割）	2	講義、討論（能村）
5	生活障害の捉えかた、生活の構造的側面	3	講義（能村）
6	介護保険サービスと地域リハビリテーション	4	講義（能村）
7	介護保険サービスと地域リハビリテーション	4	講義、討論（能村）
8	障害者自立支援表、特別支援教育と作業療法士の役割	4	講義（能村）
9	介護保険制度におけるケアマネジメントの機能、視点の概略（高齢者）	5,6	講義、討論（能村）
10	障害者自立支援法におけるケアマネジメントの機能、視点の概略（身体障害者の場合）	5,6	講義、討論（能村）
11	同上（精神障害者の場合）	5,6	講義、討論（能村）
12	ケアマネジメントの機能、視点の概略（障害児）	5,6	講義、討論（能村）
13	ケアマネジメントの実際	6,7	講義、演習（能村）
14	地域リハビリテーションにおけるネットワークづくり（新潟県の事例）	7	講義、討論（小野）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	浜村明徳編：地域リハビリテーションプラクシス。医療分社、2004.			
参考書	小川恵子編：地域作業療法学。医学書院、2005. 寺山久美子・編、（社）日本作業療法士協会・監修：地域作業療法学（OT学全書別巻）。協同医書出版、2005.			
その他の資料	必要に応じて配付			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席点 10% レポート点 20% 期末テスト 70%	1. 地域ケア体系は激変期にある。情報をネット・新聞・TVから常に収集すること。 2. 保健・医療・福祉は在宅ケアへと大きくシフトしている。具体的な例を自分の実習地または居住地で調べ、援助の実態を見学しレポートを提出する。